

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 水 2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	人間と文化 (日本の思想) Humanity and Culture (Japanese Thought)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 佐久間 正 Eメールアドレス: sakuma@nagasaki-u.ac.jp 研究室: 環境科学部 4 階・451 室 オフィスアワー: 講義終了後			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 日本思想史の考え方について説明し、日本思想史の基本的内容を思想家、主要著作、思想内容等から講義する。 授業方法: 配付資料及び教科書に基づき講義する。 授業到達目標: 日本思想史に関する基本的知識を習得し、日本の思想について基礎的な説明ができるようにする。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 第1回 はじめに 思想史の考え方 第2回 日本思想史の特徴 土着、外来、日本化 第3回 「日本」の形成と思想 第4回 古代の思想 (1) 古代国家と思想 第5回 古代の思想 (2) 最澄と空海 第6回 中世の思想 (1) 鎌倉仏教の思想 第7回 中世の思想 (2) 武家政権と政治思想 第8回 中世の思想 (3) 文芸と思想 第9回 近世の思想 (1) 近世国家と儒教 第10回 近世の思想 (2) 国学と神道 第11回 近世の思想 (3) 蘭学・洋学と水戸学 第12回 近現代の思想 (1) 文明と啓蒙思想 第13回 近現代の思想 (2) 体制と反体制 第14回 近現代の思想 (3) 戦後民主主義 第15回 定期試験			
キーワード	思想史、神道、仏教、儒教、国学、蘭学		
教科書・教材・参考書	教科書:『概説日本思想史概論』(ミネルヴァ書房、2005、3200円＋税)。参考書は適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況 20%、○ 期末試験 80%。		
受講要件(履修条件)	高校日本史の内容を理解していることが望ましい。		
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)	授業中紹介する日本思想史の史料(古典)を積極的に読み進めて欲しい。		